

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	胆道癌
治療法	ゲムシタビン+シスプラチン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	ゲムシタビン	シスプラチン
規格	200mg 1000mg	10mg/20mL 50mg/100mL
一般名	ゲムシタビン	シスプラチン
一日投与量(規定)	1000mg/m <sup>2</sup>	25mg/m <sup>2</sup>
患者情報から算出した 一日投与量	<b>1501.12 mg</b>	<b>37.53 mg</b>
実際の投与量	<b>1500 mg</b>	<b>37 mg</b>
	<b>999.3 mg/m<sup>2</sup></b>	<b>24.6 mg/m<sup>2</sup></b>
投与日	day1,8	day1,8
1クール期間	21日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	切除不能・再発胆道癌
推奨 経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2, 3, 4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前) 125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1.胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 2.本剤または他の白金を含む薬剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 3.重篤な腎障害のある患者 4.高度な骨髄抑制のある患者 5.胸部への放射線療法を施行している患者 6.重症感染症を合併している患者 7.妊婦又は妊娠している可能性のある女性
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ゲムシタビン</p> <p><b>重大</b> 1.骨髄抑制 2.間質性肺炎 3.アナフィラキシー 4.心筋梗塞 5.うっ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促迫症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 11.皮膚障害 12.肝機能障害、黄疸 13.白質脳症</p> <p><b>その他</b> (10%以上または頻度不明) 総蛋白低下、電解質異常、アルブミン低下、食欲不振、悪心・嘔吐、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、Al-P上昇、発疹、疲労感、発熱、インフルエンザ様症状、放射線照射リコール反応、血小板増加</p> <p>(1~10%未満) 頻脈、血圧上昇、呼吸困難、高炭酸ガス血症、低酸素血症、咳嗽、BUN上昇、蛋白尿、血尿、クレアチニン上昇、下痢、便秘、口内炎、胃部不快感、ビリルビン上昇、A/G比低下、γ-GTP上昇、ウロビリゲン尿、頭痛、めまい、不眠、知覚異常、脱毛、そう痒感、注射部位反応、体重減少、尿糖陽性、好酸球増多、関節痛、悪寒、味覚異常、鼻出血、倦怠感、浮腫、CRP上昇、体重増加、疼痛、ほてり、胸部不快感</p> <p>●シスプラチン</p> <p><b>重大</b> 1.急性腎不全 2.汎血球減少等の骨髄抑制 3.ショック、アナフィラキシー様症状 4.聴力低下・難聴、耳鳴 5.うっ血性乳頭、球後視神経炎、皮質盲 6.脳梗塞、一過性脳虚血発作 7.溶血性尿毒症症候群 8.心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈 9.溶血性貧血 10.間質性肺炎 11.抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 12.劇症肝炎、肝機能障害、黄疸 13.消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔 14.急性膵炎 15.高血糖、糖尿病の悪化 16.横紋筋融解症</p> <p>17.白質脳症(可逆性後白質脳症症候群を含む) 18.静脈血栓塞栓症</p> <p><b>その他</b> (10%以上または頻度不明) 悪心・嘔吐、食欲不振、脱毛、全身倦怠感、注射部位反応、血圧上昇</p> <p>(1~10%未満) 下痢、口内炎、末梢神経障害、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱</p>
備考	

# ゲムシタピン+シスプラチン併用療法 観察記録

所要時間: 5時間半

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師:		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	ゲムシタピン ( mg ) 一般名(ゲムシタピン)	シスプラチン ( mg ) 一般名(シスプラチン)		
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	ソルデム3A 500mL		1時間かけて点滴 【500mL/h】	
	生食500mL		3時間半かけて点滴 【140mL/h】	
	生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	生食500mL+シスプラチン 【Total 500mL】		2時間かけて点滴 【250mL/h】	
	生食100mL+ゲムシタピン		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	ソルデム3A 500mL		1時間かけて点滴 【500mL/h】	
本体終了後抜去				